

手づくり工房・ワイワイ

[第30便 (6月28日~7月1日)]

1名 (女性 1名)

※ポラパックⅡ第6・19便で参加

活動内容：ぼんぼんマスコット／七夕飾りづくり

昨年の活動が大変好評で山田町の方々から第23便で「お雛さまづくり」(P.15)の要望が上がりましたが、ご予定が合わず、代役として個人ボランティアの皆さんに活動いただきました。

第30便では、個人ボランティアが補助に入り2グループに分かれ、仮設住宅談話室・集会所など各3ヶ所で活動しました。昨年の活動した会場から再度開催の要望を多数いただいていたので会場選定となりました。器用な方々が多い獵師町、皆さん大好きな物づくりに没頭していただくことができました。

19便で体験して頂いた「お雛様づくり」が好評だと再度23便で要請を受け、参加は叶わないためキット作りを頑張りました。その後も続けて楽しんで頂けている事が嬉しく感謝しています。30便では、七夕飾りで短冊に復興・健康・大漁祈願を書かれ、願いが叶う事を祈らずにはられません。また、私の住む紀北町、山田町でも食されるマンボウのマスコットを毛糸で作し、皆様のひと時の安堵と癒しの姿や表情に、活動してこれた喜びを感じました。



代表
井谷 三枝子さん



津うキャラえがおとどけ隊

[第35便 (9月14日~17日)]

14名 (男性 6名 / 女性 8名)

※ポラパックⅡ第12便で参加

活動内容：ステージイベント (ゆるキャラと遊ぼう) / 甲冑着付け体験

昨年活動いただいたことがきっかけとなり、山田町ゆるキャラ (P.21~) 誕生までのサポートをしていただきました。第35便では、山田祭にて開催されるゆるキャラお披露目会に津うキャラたちが山田町に駆け付けステージを盛り上げました。個人ボラが補助に入り、お互いに貴重な経験となり結束力も強く活動できました。また、山田祭 (P.15) にて立ち上げたみえボラブースでは、甲冑着付け体験を行たたくさんの子ども達の凛々しい姿が目眩しく残っています。

これまでのポラパックでの活動の集大成に、津うキャラえがおとどけ隊として山田町のキャラクター「ヤマダちゃん」「たけちゃん」の誕生に関わらせていただき大変光栄でした。これからもキャラクターを通じて山田町のみなさんの前向きな活動のサポートや、山田町に笑顔を届ける活動を続けていきたいです。山田町のみなさん、みえ災害ボランティア支援センターのみなさん本当にありがとうございました！これからもよろしく願いいたします！



代表
原田 浩治さん



活動サポート

三重県教育委員会

[8月7日~8日] 17名 (男性 11名 / 女性 6名)

活動内容：ぼんぼんマスコット

三重県教育委員会が主催・運行する、三重県内の高校生を対象とした被災地への体験学習として、みえ災害ボランティア支援センターが、山田町でのボランティア活動の調整、事前ガイダンス等をサポートしました。

1日目は「save the children 子どもまちづくりクラブ」の中高生との交流会に参加し、2日目は仮設住宅等で、山田町の方々とぼんぼんマスコットづくりをしながら交流させていただきました。たった2日間でしたが将来の町づくりを真剣に考えている子どもたちの姿や、南海トラフ巨大地震が想定される三重県の私たちを気遣ってくださった被災者の方々から、大きな元氣と感動をいただきました。さらに三重県の高校生たちがこの2日間で大きく成長したと実感できたことも大きな感動でした。

(南伊勢高等学校
河北 冠校長先生)



個人ボランティア

個人ボランティアには、現地から寄せられるニーズ、団体ボランティアの活動補助、または当センターから提案するプログラムを事前に講習を受けた上で活動していただきました。今年は、みえボラ独自のプログラム、山田町の方々からいただいたニーズを元にした活動を行ないました。

-----みえボラプログラム-----

●継続プログラム

昨年から継続して実施したプログラム

ハンドマッサージ

ボラパックⅡ第24・27・35便で活動

ボラパックⅡ開始当初から活動を継続しているハンドマッサージ体験。山田町の皆さんからも大変好評いただき、平成24年のボラパックⅡ第1便から通して最多の活動回数を実施しました。手と手が触れ合って、ゆっくりお話をして、身も心も温まっていただける活動となりました。

新聞コサージュ

ボラパックⅡ第25・26・29・35便で活動

ボラパックⅡ第19便よりスタートした新聞コサージュは、家にある材料で簡単につくっていただけることと、新聞で作ったとは思えない可愛いコサージュが大変人気で、たくさんの方が個人的に引き続き作成してくださっていることを耳にし、大変嬉しく思っています。

●新規プログラム

今年より開始した新たなプログラム

ガンブラ交流

ボラパックⅡ第25・29・32便で活動

男性向けの活動としてできることはないだろうかと思案しボラパックⅡ第25便より開始した「ガンブラ交流」。ガンブラのうたい文句に集まったボランティアとガンダム世代の参加者さんの熱いトークバトルが繰り広げられる場面や、多数参加いただいた子どもたちが熱中する姿も微笑ましく、新しいボランティア活動・会場の雰囲気づくりができました。

※「ガンブラ」…ガンダムのプラモデルの略称



参加者の声

ガンブラ交流が企画された第25便と第29便に参加しました。「ガンブラ交流」募集を知ったとき「面白そうだけど、しばらくプラモなんか作ってないなあ」と思いつつも応募しました。結果は「これは面白い!」というのが率直な感想でした。

「ガンブラ交流」は「参加者からお金を頂きながら自分も楽しむ。」という異質な活動で、参加して頂いた方々との交流などを通じて、災害支援活動の違った面を学ぶことが出来ました。



ボラパックⅡ
第25・29便
山口 匡史さん

ぼんぼんマスコット

ボラパックⅡ第30・31・32・33・34便で活動

ボラパックⅡ第28便で団体「こころネット」が行った「ぼんぼんマスコット」活動をきっかけに、第30便よりみえボラプログラムとして始動しました。家にある材料で作れるようにと準備を進め、大変多くの会場で活動しました。毛糸を巻いて切るだけという簡単なレシピで、幾度も活動を重ねる度に、参加される方々の腕がどんどん上がってはオリジナル作品もたくさん増えていきました。



参加者の声

お婆ちゃんに頼まれてマスコットを作りました。彼女の希望は少し前に亡くなった愛犬のナナちゃん。彼女の話を聞きながら一生懸命に作りました。完成したマスコットを見て、懐かしそうに「ナナちゃん」と呟いた彼女を今も思い出します。彼女の代わりにマスコットを作ることで、彼女の心に少し触れた気がします。愛犬を偲びながらも、その大切な想いとともにも前へ進むためのお手伝いが、私にもできたでしょうか。あのひと時もマスコットも、お婆ちゃんやみなさんの癒しとなり、励みとなりますように。



ボラパックⅡ
第23・33便
西村 朋子さん